

■吉田忠雄 実業家。戦時下に、ファスナーの製造・販売の会社を創業、世界のトップブランド(YKK)にまで発展させた。

よしただだお

アララギ 創刊・1908＝ 富山県の魚津で野鳥を飼育・販売する貧しい家に生まれ、

幼い頃から身体は小さいながら商才のあるところを示し、

明治天皇没・1912＝ 4歳：

バブルが崩壊した不況の中、

ロシア革命・1917＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝13歳：

関東大震災・1923＝15歳：尋常高等小学校を首席で卒業したが、就職先が無く、
護憲三派圧勝1924＝16歳：ゴム靴屋をしていた長兄の商売を手伝いながら独習、

円本時代始・1926＝18歳：

共産党事件・1928＝20歳： 徴兵検査も不合格となって、家に閉じこもるうち、長兄の話を聞いて貿易商を志すようになり、許しを得て上京、紹介された輸入商{古谷商店}に奉公した。倉庫の整理などで才覚を現して評価され、

海軍軍縮条約1930＝22歳： 主人に代わって支那陶器を買い付けるため、上海に出張、

満州事変・ 1931＝23歳： 三度目の上海出張の際に、く上海事変に遭遇し、本国からの資金が途絶する中、またも才覚をもって軍への食料品納入の権利を獲得して、莫大な利益を上げ、

五一五事件・1932＝24歳： 帰国するが、

国際連盟脱退1933＝25歳： 円の暴落などで、{古谷商店}が倒産、自ら稼いだ金も失ったため、主人のすすめで、在庫のファスナーの半製品を最終製品に加工して販売することにしよう、

帝人疑獄事件1934＝26歳： *日本橋蠣殻町で、友人2人を従業員とする{サンエス商会}を設立、ファスナーの製造販売を開始するや、

芥川直木賞始1935＝27歳： *輸出も手掛けて、一流靴店から大量注文を受けるまでになり、駒子と結婚、

日中戦争始・1937＝29歳：

健保+総動員 1938＝30歳： 小松川に工場を建設、 吉田工業と改称して社長に就任、政府の輸出奨励策に乗り、

日米開戦・ 1941＝33歳： 輸出がストップするも海軍・陸軍指定工場となって受注量が激増。妻が肋膜炎で倒れ転地療養させる。

創価学会検挙1943＝35歳： 妻が復帰、

年金+総武装 1944＝36歳： 召集令状を受けて横須賀海兵団で教員室係を務める。

敗戦・ 1945＝37歳： 解除となるも、く大空襲を受けて全てが灰燼に帰したが、疎開先の郷里で苦勞して工場の操業を開始するうち、く敗戦となるや、この年のうちにファスナー生産に漕ぎ付け、

新憲法公布・1946＝38歳： 売り上げが増大する一方、{全国ファスナー協会}を設立して理事長に就任した。

朝鮮戦争始・1950＝42歳： 業界共同でアメリカの製造機械を購入。{吉田貿易}を設立。魚津で伸銅工場の操業を開始。

独立回復・ 1951＝43歳： 国内メーカーに製造機械を開発させ、

TV放送始・ 1953＝45歳： 連続加工装置を完成して生産能力を飛躍的に向上。

自衛隊発足・1954＝46歳： 社章を制定。

国連加盟・ 1956＝48歳： 東京市場の独占、大阪市場の拡大に努め、郷里の黒部に機械化一貫生産の大工場を建設し

インスツトマン・1958＝50歳： *YKKブランドで、国内初の大量生産を開始。天皇皇后両陛下の行幸という榮譽に浴する。

美智子妃・ 1959＝51歳： 東南アジアで工場建設、ニュージーランドで合弁会社設立、

安保闘争・ 1960＝52歳： アメリカのニューヨークで{ヨシダ・インターナショナル社}を設立するなど海外へ飛躍、

全国総合計画1962＝54歳：

東京リベンジャ 1964＝56歳： アメリカでの現地生産を開始、以後ヨーロッパ各国など海外40カ国に工場を設立して行く。

大学紛争始・1965＝57歳： アルミサッシ製造にも進出し、

いざなぎ景気1966＝58歳： “ハイサッシ”を発売、

美濃部都知事1967＝59歳： 爆発的に売れ始める。

震ヶ関ビル・ 1968＝60歳： 世界のファスナーの4分の1を生産するまでに至り、名実ともに世界のトップ企業に成長、

大阪万博・ 1970＝62歳： サッシが公共住宅規格に認定されて、安定的に生産できるようになり、

ドルショック・ 1971＝63歳： ファスナーの生産額を凌駕するまでになる。この年、くドルショック>に見舞われ、

日中国交回復1972＝64歳： アメリカでダンピング提訴を受ける一方、後に大統領となるジョージア州知事カーターの誘致に応じて、

石油ショック1973＝65歳： 建設に着手。く石油ショック>が起きて創業以来の危機となったが、原料値上げを製品価格に転化しないことを表明して、大きな話題となった

その後も、生産を順調に拡大、

JALハイジャック・1977＝69歳： 通産省から“アルミサッシがJISに適合しない”との指摘を受けての危機も乗り越える。

貿易摩擦問題1980＝72歳：

中曽根内閣・1982＝74歳： 10年計画をまとめて取り組む。

バブル始・ 1986＝78歳： 突然脳溢血で倒れるも、以後も、療養しながら経営に携わり、

昭和天皇没・1989＝81歳： 妻駒子を失った後も、活動が続けたが、

55年体制終・1993＝85歳： 没した。

木村勝美「獅子が吼える」、「目でみる日本人物百科」、